

地域の名刺 A to Z シリーズ「かわら A to Z」

発行日	2022年3月31日 (2022年 Ver.)	
制作	三村信也 デザイン / 文章担当	
	相川奈澄 文章担当	
	相川千雪 文章担当	
	川野直美 手書き文字 / 文章担当	
協力	塩見直紀 半農半X研究所	
	濱田雄飛 写真提供	
発行	香春町役場 まちづくり課 (TEL. 0947-32-8408) 〒822-1403 福岡県田川郡香春町高野994 https://www.town.kawara.fukuoka.jp/	

「かわら A to Z」制作チーム

香春町地域おこし協力隊

三村信也

半農半X担当として、実家隣の香春町にUターン移住。有機果樹、合鴨稲作、家畜飼育/養蜂、狩猟、シェアハウスやパーマカルチャー菜園、英語環境づくりを進め、地域の里山保全活動をしています。

九州女子大学 3年

相川奈澄

家政学部人間生活学科に所属し勉学に励んでいます。地域活性についても勉強中で、大学のある北九州市でも地域づくり、まちづくりプロジェクトに参加しています！

川野農園

シニアプロジェクト

川野直美です(笑)。農業や食育、己書(筆文字)師範や筋調整ヨガ講師をしながら「健康とは？」を常に追いかけています。歴史にも興味を持ち、郷土史会を通して香春町の素晴らしいさを体感しています。

採銅所地域コミュニティ協議会

相川千雪

香春町に嫁いで4半世紀。ここ数年の地域コミュニティの関わりで、町役場や地域の皆さんと出会えたことに感謝しています。今後も、町に地域に関わり続けていきます。

3月26日実施のワークショップで
香春町のAtoZを一緒に考えた
地域の人

帆足梓さん	小野沢春樹さん(C担当)
市岡美幸さん	福羽弘之さん (J担当)
村上有希さん	加々見廣之さん(R担当)
大久保京子さん	坪根健さん (R担当)
下田千景さん	(北九州市立大学)

香春
かわら
A to Z

香春の魅力を再発見！

あたらしい香春

知らなかった香春

あなたにとっての香春



message

香春町に移住して 3年が経ちました。

地域の人と交流を重ねていき
「ここでやっていこう」という気持ちになりました。

そして「かわらAtoZ」ワークショップを開催し
関わってくれた仲間の協力をもってこの冊子が完成しました。

「場所が決まれば、修行が始まる」（先哲の言葉）
4月からは、次の修行が始まります。

香春町での「半農半X」担当になったことで
塩見直紀さんとのご縁につながり、
僕自身の「半農半X」、香春町の「半農半X」は
これからも深化していきます。

「僕らが変わればまちが変わり、
まちが変われば世界が変わる」（トランジション藤野）
これからも住みたくなる香春町を願って、
これからも変わり続けていこうと思います。

2022年3月31日 三村信也

contents

- | | | | |
|---|--|---|--|
| a | akitsuki historic way
秋月街道 と 宿場町 | n | nou(hannou)/small farming based
農ある暮らし と 半農半X |
| b | bamboo forest
竹林 | o | olle walk
オルレ と 低山 |
| c | community
コミュニティ | p | dried perssimon
干し柿 |
| d | dou/copper
銅 | q | quujuudai/active 90's
元気な90代 |
| e | ekisha/station
駅舎 | r | rokujusshaku iron bridge
六十尺 |
| f | flower & tree
花 と 樹木 | s | shrine
神社 |
| g | gimukyoiiku school(shieikan)
思永館 | t | taiboku/large camphor tree
大木 |
| h | history
歴史豊かな町 | u | udon & ramen noodle restaurant
うどん と ラーメン |
| i | image charactor
イメージキャラクター | v | view of good old days
町の未来像 |
| j | juusou/mountain range traverse
縦走のできる連山 | w | wecloming
ウェルカム |
| k | kawaradake
香春岳 | x | X/crosssing town
クロスするまち |
| l | lime
石灰 | y | yakimono/pottery
焼き物 |
| m | monkey
おさるさん | z | zuidou/tunnel
隧道 |



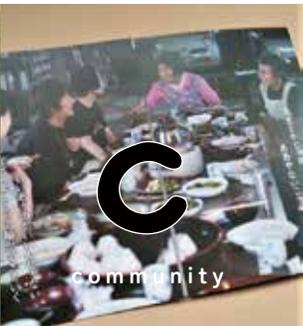
a

akitsuki kaidou



b

bamboo



c

community



d

銅 (Copper)



e

駅舎 (Station Building)



f

花と樹木 (Flowers and Trees)

秋月街道、またの名を小倉街道、猪膝街道といい、2か所の宿場町がありました。街道沿いには史跡や寺社仏閣も多く、当時は交通の要所であり、人々が生活する場でした。幕末頃には小倉藩の藩庁や藩校が置かれていたこともあります。近世に想いを馳せながら歩く旧街道での時間はなんと贅沢です。

秋月街道と宿場町

町内にはたくさんの竹林があります。中でも、採銅所「金明竹の里」には、珍しい種類の、金色に輝く金明竹が群生しています。金明竹林をはじめ町内では、昔から個人や団体が竹林整備を行い、タケノコ収穫が行われます。しかし近年、担い手が徐々に減ってきており、地域では外からの若者が求められています。

竹林 (金明竹林)

香春町の山下町地区で毎月2回行われている、かずら工芸交流会。「ギャラリーあかつき」を営んでいる矢野さんのもとには、町内外から世代問わず多くの人が集います。矢野さんの人柄を引き寄せられるようにして、地域の憩いの場、情報交換の場となっています。定期的に、原料採取に山へも入ります。(小野沢春樹)

コミュニティ (かずら工房)

大昔の採銅所地域では銅の採掘が盛んに行われ、古くは奈良の大仏建造のために銅が使われました。長光遺跡や宮原金山遺跡では銅の精錬を行っていた場所が発掘され、大分・宇佐八幡宮の御神鏡は、採銅所・長光地区の「清祀殿」で鑄造され奉納されたとの記録が残っています。

銅

大正4年(1915年)開業の採銅所駅の駅舎は築107年(2022年現在)と、今も人々の往来を見守っています。大正ロマン溢れる第一待合室は当時からの特徴を残し、2017年にフルリノベーションされた第二待合室は、地域や移住希望者の交流拠点として整備されました。地域の方によって今でも綺麗に保たれています。

駅舎 (採銅所駅)

二ノ岳の麓の神宮院には、樹齢850年の大イチョウがあります。境内には約800本の梅が咲き誇り、3月に「梅まつり」が行われ、町内外からたくさんの人で賑わいます。春には採銅所駅の桜並木、秋には宮原地区で「コスモまつり」が開催されるなど、一年を通じて四季折々の花木が人々を楽しませてくれます。

花と樹木



gimukyojuku
school



h

history

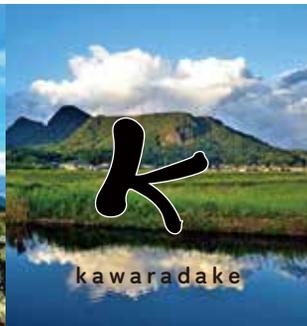


image charactor



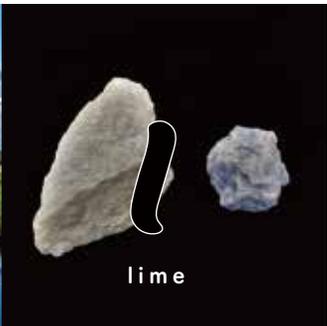
j

juusou



k

kawaradake



l

lime

町立小中一貫校として、4小2中が統合される形で2021年に「香春思永館」が新設されました。幕末激動の時代、小倉藩が香春に藩庁を移した翌年の1867年、小倉藩の藩校であった思永館が「香春思永館」と称して香春に設置された史実がその名の由来です。思永館に通う生徒の挨拶は、いつも元気をくれます。

思永館

香春町は歴史豊かな町。古くは豊前国風土記や万葉集にその名が登場しました。天台宗の開祖最澄が創建した神宮院や、県内唯一宮内庁が管轄する河内王の墓などがあります。交通の要所として合戦の舞台になったことも。幕末の慶応3年(1867年)小倉藩の退避先として3年間、香春藩が置かれていました。(坪根健)

歴史豊かな町

こんにちは！採銅所の干し柿から生まれた干し柿の精「カッキーくん」です。飛ぶように木に登り、どんな細い枝に乗っても折れません！時々いたずらをしにみんなの前に登場するけど、お年寄りから子どもまで、もちろん動物たちにも優しく親切さをモットーしてるよ。みんな～ヨロシクね♪

カッキーくん

地域のシンボルである香春岳を先頭に南北に伸びる連山。その山々は同じ山脈とは思えない程各々が個性的で、春は桜、夏は緑の絨毯、秋には黄金に輝く稲穂を望みながら尾根を縦走する事が出来ます。昔の人も、同じ景色を見ながら山行を楽しんでいたのかと思うと感慨深い気持ちに浸る事が出来ます。(福羽弘之)

縦走のできる連山(登山)

町の中心部に鎮座する香春岳。その佇まいは独特で、五木寛之氏の『青春の門』でも舞台となっています。香春岳には一ノ岳、二ノ岳、三ノ岳があり、一ノ岳を指して香春岳と呼ぶこともあります。一ノ岳の麓は旧宿場町として栄え、史跡やその面影が残っています。昔も今も、地域の人にとっては大きな存在です。

香春岳

『青春の門』の舞台となった香春岳は石灰岩でできた山で、一ノ岳は採掘により、高さが元の半分程度に低くなりました。採掘場内部は見事に白く上空から識別しやすいため、航空自衛隊の自機の位置確認の目印としても利用されています。そして現在も、石灰石の採掘は続けられています。

石灰



monkey



nou



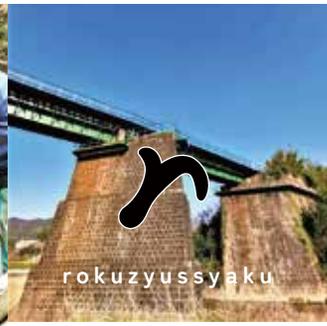
olle



perssimon



kyuuzyuudai



rokuzyussyaku

香春岳や周辺の山には野性のニホンザルが生息しています。おさるさんと昔は親しまれていた猿ですが、今では時折人里において来て悪さをする困り者です。猿被害対策として「バクチクの配布」や「電気柵設置の補助」があり、日常の一部に猿がいます。人身事故ならぬ猿身事故にご注意ください。

おさるさん

香春町では営農の推進と並行して、半農半X的農への取り組み事業が始まりました。地域おこし協力隊の半農半X活動、一つの農の形としての農ある暮らし(ライフスタイル)が町内外で徐々に認知されるようになってきました。昔からの里山での農的暮らしや、小さな農的取り組みを是非体験してみてください。

農ある暮らし(半農半X)

オルレは韓国ゆかりの、自分のペースで自然を満喫するトレッキングコースです。また、周囲を山に囲まれた香春町には、牛斬山(580m)、障子ヶ岳(427.3m)、三ノ岳(508m)、赤牟田ノ辻(759m)、愛宕山(488m)、大坂山(573m)、茶白山(408m)、新城(403.9m)など登り易い低山が多くあります。

オルレ(筑豊・香春コース)と低山

香春町特産の干し柿は、山間部に位置する採銅所地域で昔から作られています。自然が育むお菓子(スイーツ)として、その優しい甘さが自慢です。表面に白く糖がにじみ出たものほど甘く、美味しい干し柿を作るためには時間も手間もかかります。それでも一般家庭でできるので、自分の手でも作ってみませんか？

干し柿

香春町には元気なお年寄りがたくさんいます。なかでも、95歳の炭焼き職人は材料を機械で割るだけでなく、斧でも薪を割り、三日三晩かけて炭焼きをしています。出荷先の道の駅では大変好評。香春町では、こんなパワフルじ〜ちゃん、ば〜ちゃんが元気に活動しています。

元気な90代

正式名称は「第二金辺橋梁」。金辺川を渡るJR日田彦山線の鉄橋です。川から橋までの高さが60尺=約18mあることから、地元では「六十尺」の愛称で親しまれています。完成は1915年(大正4年)。土台は石材で築かれており、城壁のような立派さを感じます。百年を超えた今でも現役です。

六十尺

(加々見廣之)



shrine



taiboku



udon



vision



welcoming



X

1300年以上続く香春神社、お申様(おさるさま)と呼ばれ親しまれている現人(あらひと)神社、御祭神が竜宮に住むとされる豊玉姫の古宮八幡神社、最澄が創建した天台宗の神宮院など、古事記や日本書紀など歴史好きにはたまらない神社仏閣がたくさんあります。また、地域ごとに神幸祭が行われます。

神社

大きな木が大好きです。長い年月を経た木は一本一本それぞれ見た目や性質が異なり、愉しませられる存在でもあります。香春岳(一ノ岳)の麓にある大樟(おおくす)は、樹齢850年、樹高42m、胸崇高周り9.2m、根周り15.6mとその大きさに圧倒されます。後世へ残すため、福岡県天然記念物に指定されています。

大木(元光願寺の大樟)

町内には麺類専門店が多くあり、うどんやラーメンが日常食として食べられています。特に「ドライブインかわら」の立ち食いうどん店へは、連日沢山のお客さんが立ち寄ります。また、筑豊ラーメンとして知られる「山小屋ラーメン」の創業は香春町で、昔から人々の胃袋を満たしてくれています。

うどん・ラーメン

香春町の未来像は？香春町の可能性は？香春町の好きなのところは？と、少し考えてみることで、自分自身がほしい香春町の未来に近づくことができます。まずは想いを巡らせてみてはどうでしょう。そして、自分の周りから何かに取り組んだり、家族や仲間と意見を出し合ったりすると、少しワクワクしませんか？

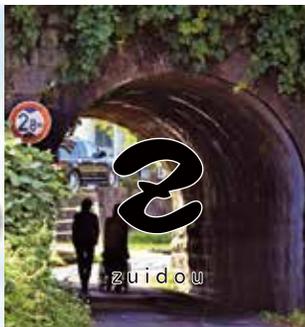
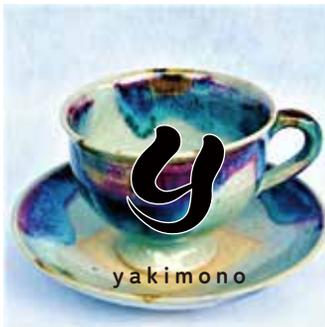
未来像を思い描いてみる

香春町への「新しい人の流れをつくる」取組みの1つに、香春町地域おこし協力隊の活動があります。協力隊という外からの新しい人が入った地域で活動することにより、ハブとなり、様々な人との交流や繋がりが生まれています。その土台は整いつつあり、移住者が増えています。ようこそ、春香の香春町へ！

ウェルカム

国道201号と322号が交差する交通の要所であり、昔からの性質を現在も引き継いでいます。香春町の人、モノ、土地柄などの要素は、交わることで新しいアイデアが生まれます。10+10=20ではなく、10×10=100の可能性を信じ、既にそこにあるもので、ないもの(ほしい未来)をつくる動きが始まっています。

クロスするまち



?

あなたにとっての
地域AtoZは？

2022年制作の「かわらAtoZ」をスタートに、年々アップデートされていく「かわらAtoZ」や、旧小学校区「香春」、旧「中津原」、「勾金」、「採銅所」の地域AtoZを考えてみて、是非下記のメールアドレスまでお寄せください！

kawaramachi.mimura@gmail.com

土の温もりを感じる、軽くて丈夫な器が日常使いに人気の仲哀焼鏡山窯。同時に出すことが難しいとされる赤と青の色合いが魅力的な上野香春焼。「木節粘土」を使い、温かみと素朴さを表現する山陶庵邦日呂窯。赤、緑、紫の鮮やかな色合いの鑑月焼守田窯。あなたはどの焼き物が好きですか？

焼き物

香春町は山に囲まれ、交通の要所でもあるため、大小トンネルが多数あります。「金辺トンネル」は北九州への石炭輸送のために1925年に開業し、全長1,444 mの長さは国内最長の複数トンネルとして注目を集めました。他にも「仲哀トンネル」「味見トンネル」、線路下の石積み小さなトンネルなど多数。

隧道（ずいどう）

My[OO **AtoZ**]をつくってみよう！

A _____	O _____
B _____	P _____
C _____	Q _____
D _____	R _____
E _____	S _____
F _____	T _____
G _____	U _____
H _____	V _____
I _____	W _____
J _____	X _____
K _____	Y _____
L _____	Z _____
M _____	
N _____	

「かわらAtoZ」やご自身が住んでいる「地域AtoZ」、「自分AtoZ」など様々なAtoZづくりにご活用ください！学校や職場、集まりや家族内などでもどうぞ！

現在の香春町は

1956年に香春町と勾金村、

採銅所村が対等合併して、新たな

香春町となりました。筑豊地域の

北東部に位置する人口1万人規模の自治体です。

その歴史は古く、地政学的には交通の要所であり、

新しいものと古いもの、地域の人と

外からの人が互いにクロスする

町として、新たな取り組みが

始まっています。

採銅所

勾金

香春

